しんくみネットワーク

全国に拡がる「しんくみ」の輪

● は、全信組連の本支店です。

信用組合数
145
組合

店舗数
1,575
店舗

組合員数
392
万人

北海道（7組合）

北央・札幌中央・ウリ・函館商工
空知商工・十勝・釧路

東北（15組合）

青森県・杜陵・岩手県医師
石巻商工・古川・仙北・秋田県
北郡・山形中央・山形第一
山形県医師・福島県商工
いわき・相双五城・会津商工

関東甲信（22組合）

茨城県・真岡・那須・あかぎ
群馬県・ぐんまみらい・群馬県医師
埼玉県医師・熊谷商工・埼玉・房総
銚子商工・君津・神奈川県医師
神奈川県歯科医師・横浜幸銀
横浜華銀・小田原第一
相愛・山梨県民・都留・長野県

東京（19組合）

あすか・全東栄・東浴・文化産業
東京証券・東京厚生・東・江東
青和・中ノ郷・共立・七島・大東京
第一勧業・警視庁職員・東京消防
東京都職員・ハナ・朝日新聞

新潟（10組合）

新潟縣・新潟鉄道・興栄・はばたき
協栄・三條・巻・新潟大栄・塩沢
糸魚川

東海北陸（21組合）

静岡県医師・富山県医師・富山県
金沢中央・石川県医師・福泉
福井県医師・丸八・愛知商銀
愛知県警察・名古屋青果物
愛知県医療・愛知県医師・豊橋商工
愛知県中央・岐阜商工・イオ
岐阜県医師・飛驒・益田・三重県職員

近畿（21組合）

滋賀県民・滋賀県・京滋・大同・成協
大阪協栄・大阪貯蓄・のぞみ・中央
大阪府医師・大阪府警察・近畿産業
毎日・ミレ・兵庫県警察・兵庫県医療
兵庫県・神戸市職員・淡陽
兵庫ひまわり・和歌山県医師

中国 四国（13組合）

島根益田・朝銀西・笠岡・広島市
広島県・広島商銀・呉市職員・両備
備後・山口県・香川県・土佐
宿毛商銀

九州（17組合）

福岡県庁・福岡県医師・福岡県
佐賀県医師・佐賀東・佐賀西
長崎三菱・長崎県医師・西海みずき
福江・熊本県医師・熊本県・大分県
宮崎県南部・鹿児島興業
鹿児島県医師・奄美

（2023年3月末現在）

Shinkumi Bank 信用組合 しんくみ
ちかくにいるから、チカラになれる。

全国信用協同組合連合会 総合企画部
〒104-8310　東京都中央区京橋1-9-5　TEL:03-3562-5115
URL:https://www.zenshinkumiren.jp/

一般社団法人 全国信用組合中央協会 ブランドコミュニケーション部
〒104-0031　東京都中央区京橋1-9-5　TEL:03-3567-2452
URL:https://www.shinyokumiai.or.jp/

FSC ミックス 紙｜責任ある森林管理を支えています FSC® C020495
VEGETABLE OIL INK
2023.07／65,000

Shinkumi Bank 信用組合 しんくみ

しんくみ info 2023

インフォ

―しんくみバンクの活動の紹介―

YouTubeで“しんくみバンク”信用組合のことをもっと知ろう！

“しんくみバンク”信用組合には、公式YouTubeチャンネルがあるのをご存知ですか？さまざまなコンテンツがあるので、どこから観ようか迷うかもしれませんが、これを観ればきっと、信用組合のことがもっとわかるはず。ぜひチェックしてみてください！

ここの二次元コードから
“しんくみバンク”公式YouTube
チャンネルへアクセスできます！

検索・登録をお願いします！

信用組合ってどんなところ？

「ブランデッドムービー」

信用組合のブランドスローガン“ちかくにいるから、チカラになれる。”に込められた信用組合の想いを、ストーリー化したブランデッドムービーです。

「まちを作る、あなたのそばに」
Shinkumi Bank

信用組合ってどんな取組みをしているの？

「しんくみ動画劇場」

地域に根付いた仲人業務
企業の縁結びで三方よしの地域貢献

全国の信用組合で、事業者や地域の発展を使命として取り組む役職員の姿や、お客さまとのつながりを描く動画です。

信用組合の意外な取組みを教えて！

「懸賞作文
『小さな助け合いの物語』」

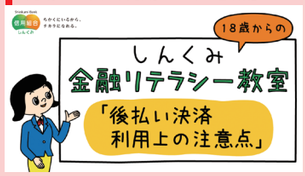
小さな助け合いの物語賞

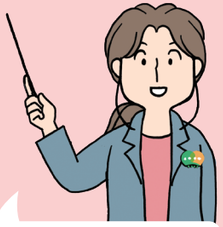
信用組合業界では「相互扶助」の理念のもと、身近な助け合いをテーマとした作文を募集しており、告知動画と入賞作品の朗読動画を公開しています。

金融やお金の知識、もっと深めたいなぁ…

「しんくみ金融リテラシー教室」

しんくみ金融リテラシー教室
「後払い決済利用上の注意点」





成年年齢が18歳に引き下げられたことを受けて、新たに成人となった社会人・大学生に向けて、「お金」に関する知っておきたい基礎知識をわかりやすく解説しています。

信用組合で働くって、どんな感じ？

「就活応援！信用組合で働く」

就活応援！
ちかくにいるからチカラになれる信用組合
-しんくみで働く先輩たちとその業務をご紹介します-

信用組合業界の就活・採用向け動画をまとめました。信用組合の取組みや、職員のインタビューを紹介しています。『しんくみで働く姿』をイメージできる動画です。

“しんくみバンク”信用組合は
組合員のための金融機関！

信用組合は、銀行と同じように金融機関としての役割を持っています。
組合員（お客さま）が個人や法人で口座を作成し、預金して、そのお金を安全に管理できます。
このほかにも、組合員の方々の事業のことやご家族のお金にまつわる心配ごとなど、
お困りごとをお聞きして経営や生活をサポートしています。

信用組合は3つのコミュニティを基盤にしています

地域信用組合

組合員は地域の中小・小規模事業者や地域にお住まいの皆さまです

業域信用組合

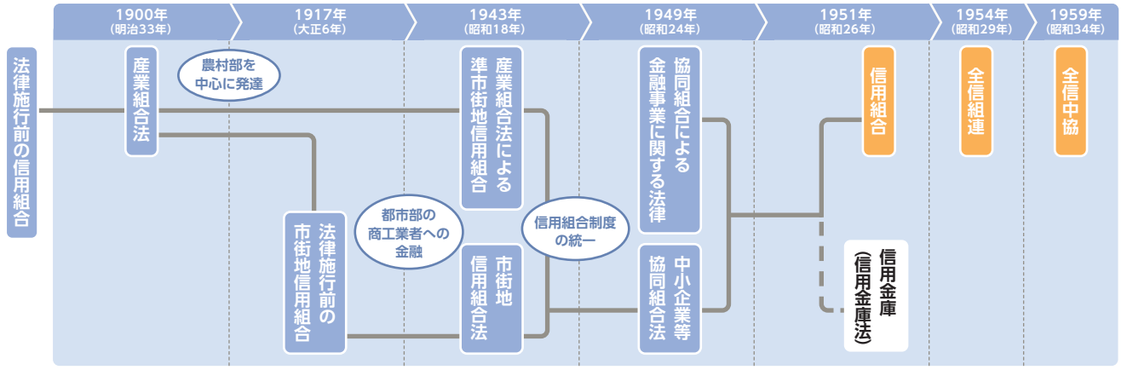
組合員は同じ業種の皆さまです

職域信用組合

組合員は同じ職場にお勤めの皆さまです

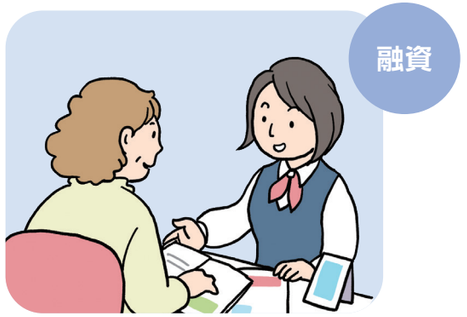
信用組合の歴史

信用組合は、江戸時代の相互扶助組織をルーツとし、協同組合性をより強く指向した金融機関として発展しました。



“しんくみバンク”信用組合の主なサービス

預金



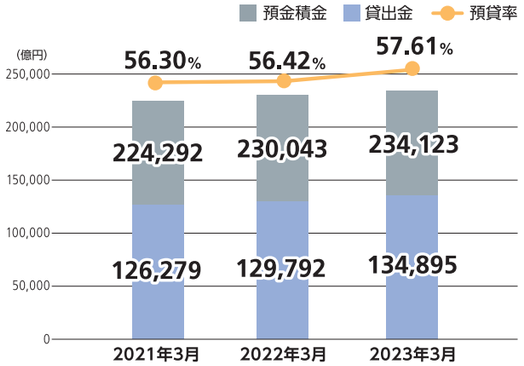
融資

銀行と同じように「貯める」も「借りる」もご利用いただけます！

数字でみる信用組合

皆さまの身近な金融機関として歩み続ける、全国の信用組合の経営概況をご紹介します。

預金残高・貸出金残高・預貸率



2023年3月末

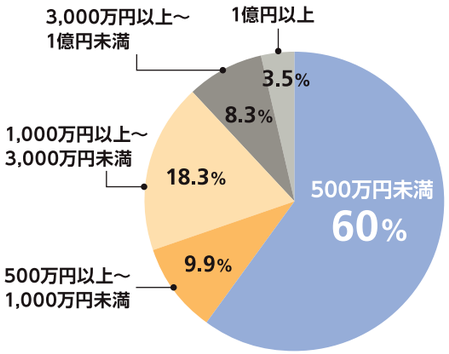
預金積金残高 …… 23兆4,123億円

貸出金 …… 13兆4,895億円

預貸率※ …… 57.61%

※預貸率は、預金に対する貸出金の割合を示す指標です。

貸出先（貸出金額別）の割合



全信組連調べ
対象先は、地方公共団体を除く法人および個人事業者（自営信用組合は除く）

2022年3月末

貸出先 500万円未満 …… 60%

クラウドファンディング「MOTTAINAIみらい」を通じた販路開拓支援（BtoC）

全信組連は、業界大手の㈱CAMPFIRE社と業務提携し、クラウドファンディング「MOTTAINAIみらい」を運営しています。

これまで当クラウドファンディングでは、コロナ禍に苦しむ信用組合のお取引先支援に向けた「しんくみ新型コロナ対応事業者応援プロジェクト」に取り組み、2020年からの累計で262事業者のお申し込みを受付け、全国の支援者の皆様から総額5千万円を超えるご支援をいただくことができました。感謝申しあげます。

今年度は、コロナ禍収束に合わせてプロジェクトをリニューアル。新たな手数料補助策を導入し、引き続き信用組合のお取引先支援に邁進しています。

MOTTAINAIみらい公式ホームページ
https://camp-fire.jp/curations/mottainaimirai

ビジネスマッチング展による販路開拓支援（BtoB）

信用組合のお取引先に、新たなビジネスチャンスの創出やビジネスパートナーとの出会いの場を提供し販路開拓等に繋げていただくことを目的に、業界3団体（全信組連・全信中協・東京都信用組合協会）共催による「2022しんくみ食のビジネスマッチング展」を開催いたしました。

全国のお取引先からは「既取引先とは異なる属性のバイヤーと巡り会え、新しい販路が開拓できた」、バイヤーからは「地域特有の魅力的な商品に多数出会えた」と好評を得ています。

2023年度もオンライン形式による商談会を予定していますが、従来からの食品や飲料品に加え、新たに「食」に関連する生活雑貨等を出展対象に拡大しています。

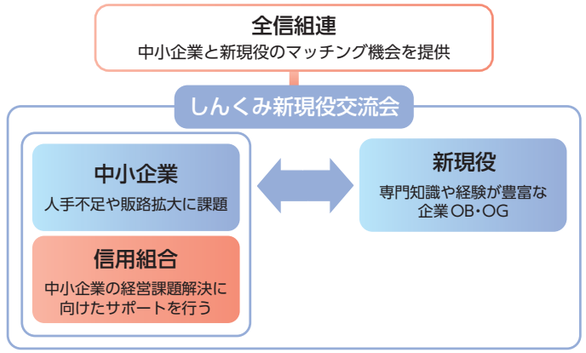
信用組合のビジネスマッチング展は、初参加のお取引先でもスムーズにバイヤーと商談が行えるよう、商談ノウハウやECサイトの活用に向けたセミナーを開催するなど、多くの工夫を取り入れて開催しています。

「しんくみ新型役交流会」による人材マッチング

信用組合のお取引先事業者と経営課題に関して豊富な知見を有する企業OB・OG（新現役）に出会いの場を提供する「しんくみ新現役交流会」を2022年9月7日、2023年3月2日の計2回開催いたしました。

Face to Faceを旨とする信用組合ならではの取組みとして、お取引先の販路開拓や人材不足等の課題解決に向けた支援に全力で取り組んでいます。

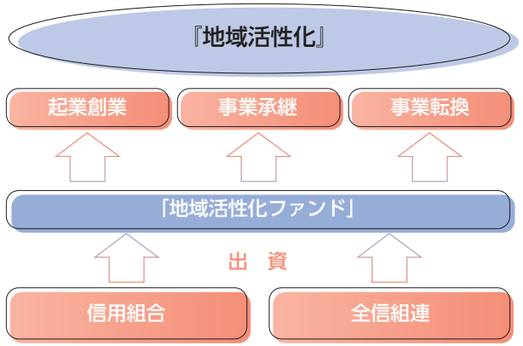
▲ 信用組合のお取引先事業者と新現役のオンライン面談の様子



中小事業者等支援ファンドを通じた地域振興

信用組合では、ファンドを活用した地域活性化に資する創業支援や事業承継支援等に取り組んでいます。全信組連は、こうした信用組合の活動を全面的に支援すべく、「中小事業者等支援ファンド向け資金供給制度」を運営しています。

本制度を活用し、これまで4組合が9ファンドを設立。これまでのファンド総額は36億円を超え、地域の観光事業発展に向けた案件やSDGsの観点からの再生可能エネルギー案件等、信用組合および全信組連が供給するリスクマネーが、地域の多様な事業に活用されています。



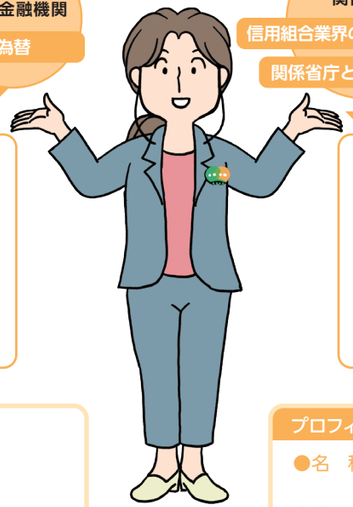
全信組連・全信中協って どんなところ？

全信組連（全国信用協同組合連合会）と全信中協（一般社団法人　全国信用組合中央協会）は、
全国の信用組合が出資、加盟している信用組合の中央組織です。
全信組連は信用組合業界の系統中央金融機関、全信中協は業界団体として、
両組織一丸となって信用組合を支えています。

金融市場 — 余裕資金の運用
国・一般企業等 — 資金決済・仲介
日本銀行・民間金融機関 — 為替

全信組連

- 信用組合に対する各種経営サポート
- 業界インフラの整備・運営



当局・関係機関 — 信用組合業界の意見・要望発信／関係省庁との連絡・調整
中小・小規模事業者、生活者の皆さま — 信用組合業界の広報

全信中協

- 信用組合に対する、関係法令や制度改正についての周知・アドバイス

プロフィール（2023年3月31日現在）

- ●名　称：全国信用協同組合連合会（略称：全信組連（ぜんしんくみれん））
- ●設　立：1954年（昭和29年）3月29日
- ●職員数：288人
- ●出資金：1,118億円（普通出資金 888億円・優先出資金 230億円）
- ●純資産：2,739億円
- ●総資産：110,391億円
- ●単体自己資本比率：17.45%（国内基準）

プロフィール（2023年3月31日現在）

- ●名　称：一般社団法人　全国信用組合中央協会（略称：全信中協（ぜんしんちゅうきょう））
- ●設　立：1959年（昭和34年）2月25日
- ●職員数：24人
- ●主な事業内容
  - ・信用組合の円滑な業務運営に向けた事業
  - ・ブランドコミュニケーション事業
  - ・教育研修事業
  - ・社会貢献事業

“しんくみバンク”信用組合は 相互扶助を理念とした協同組織！

信用組合は、組合員同士が互いに助け合う“相互扶助”の理念に基づいた協同組織の金融機関であり、
組合員の利益を第一に考えているところが銀行との大きな違いです。
組合員には会社員や主婦など、一定の条件のもとでどなたでもなることができます。
また、相互扶助の理念のもと、社会の助け合いにも積極的に参加しています。

しんくみピーターパンカード ―すべての子どもたちの笑顔のために―

使うだけで多くの子どもたちへの支援につながり、社会貢献ができるクレジットカードをご存じですか。それが、カードを使って買い物をすると利用代金の0.5%相当額が寄付される「しんくみピーターパンカード」です。

信用組合は、全国の社会福祉関連諸団体や児童支援・養護施設等および子どもたちの難病治療研究等を行うロンドンのグレート・オーモンド・ストリート病院こどもチャリティに寄付を行うことで、難病や障がいとたたかう子どもたちへの支援を行っています。

信用組合はコミュニティに寄り添う金融機関として、活動を続けています。

▲ 認定こども園しゃろーむ様

▲ 学校法人青森田中学園様

▲ 大阪府肢体不自由児者父母の会連合会様

- ●2023年4月末のカード発行枚数：36万5,429枚
- ●2022年12月までの寄付金累計額：7億2,407万円
- ●寄付贈呈先：グレート・オーモンド・ストリート病院こどもチャリティおよび全国の社会福祉関連諸団体等のべ113団体※

※2021年7月～2022年6月の合計

懸賞作文「小さな助け合いの物語賞」

信用組合では社会における「助け合い」の心の大切さを伝えるため、懸賞作文「小さな助け合いの物語賞」を実施しており、今年で14回目を迎えます。2022年度第13回は1,961作品のご応募がありました。

当懸賞作文はどなたでも応募が可能で、毎年6月上旬から9月上旬まで作品を募集しております。募集を通じ、「助け合い」について“感じる”“考える”機会となることを願っています。

また、学生にとっては「豊かな心の育成」に寄与するものと考え、全国の学校に取り組んでいただいております。

2022年度 第13回懸賞作文 受賞作品

名　称	受賞作品タイトル
しんくみ大賞	近所の定食屋
しんくみきずな賞	お弁当についているメッセージ
未来応援賞	宝物の五円玉
未来応援賞	助けあいのこころ
未来応援賞	優しい心とありがとう

※その他、ハートウォーミング賞10作品もございます。

▲ 2022年度 第13回作品集

▲ 2023年度 第14回告知動画

詳細は、全信中協ホームページをご覧ください。

社会貢献活動団体を支援する「小さな助け合いの物語賞」

懸賞作文では、その賞金相当額である50万円を社会貢献のために活動している団体に毎年贈呈しています。2022年度は公益的な活動の重要性や信用組合の経営理念「相互扶助」の合致性等を踏まえ、特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパンに第58回全国信用組合大会で寄付金を贈呈いたしました。

▲ 寄付金贈呈式の様子（2022年10月21日）

●朗読動画をこちらからご覧になれます。

●受賞作品をこちらからご覧になれます。

しんくみの日週間

信用組合業界では、毎年9月3日を「しんくみの日」、9月1日～7日の1週間を「しんくみの日週間」と定めて、各信用組合でさまざまな奉仕活動やイベントを実施しています。コミュニケーションマークのブランドカラーを連想させる花の種（フレンチマリーゴールド）を花いっぱい運動、感謝デー等の頒布品としています。

▲ 献血活動

▲ 清掃活動

▲ 花の種

活動例

●花の種の配布　●のぼり旗の提出　●コミュニケーションステッカーの貼付　●献血活動
●しんくみピーターパンカード寄付金の贈呈　●感謝デー　●清掃活動　●店内ギャラリー
●切手・テレカ等収集寄付　など

しんくみはばたき奨学金

信用組合は地域住民の教育・子育てを支援するとともに、意欲のある高校生等の進学を応援するため、修学上必要な学資金等の一部を給付する返済不要の給付型奨学金制度「しんくみはばたき奨学金」を設けています。

実績	給付人数	給付額総額（円）	組合数
2020年度	240人	21,886,526	15組合
2021年度	250人	23,704,526	18組合
2022年度	288人	25,306,526	20組合

（2017年の制度開始から累計実績）
給付人数：1,348名　給付総額：130,555千円

共に助け合い、未来へ

SDGsへの取組み

●持続可能な開発目標 SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは…

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17の目標と169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

●信用組合業界のSDGsへの取組み

信用組合業界は、従前からSDGsが目指す「持続可能な社会の実現に向けた取組みの重要性」を、事業者支援や社会貢献活動と並ぶ活動の柱としており、SDGsが掲げる社会的課題へ常に関心をもって取り組むこととしています。

なお、2023年6月1日現在、69信用組合がSDGs宣言を行っています。

各信用組合のSDGs宣言は、全信中協ホームページをご覧ください。

https://www.shinyokumiai.or.jp/activity/sdgs.html

●全信組連SDGs宣言

2020年4月、全信組連はSDGsへの対応にかかる基本的な考え方を策定し、「全信組連SDGs宣言」として公表しました。今後も全国の信用組合とともに持続可能な社会の実現に向けた取組みを推進していきます。

全信組連が主に取り組む3つのテーマ

1. 全信組連のガバナンス・経営基盤の強化を通じて信用組合ひいてはその組合員・取引先の持続的発展を目指します
2. さらに、信用組合がその基盤を置く「しんくみコミュニティ」（地域・業域・職域）の持続的発展に貢献します
3. CSR活動の実践に取り組みます

国際的な信用組合業界の発展に貢献

アジア信用組合連盟（ACCU）での活動

全信中協は、日本の信用組合業界に関する情報や日本が培ってきた経験や知見をアジアの信用組合に発信して共有することで、日本の信用組合業界の国際的知名度向上を図りつつ、アジアの信用組合業界の発展に貢献することを目的として、2019年9月にACCUに加盟しています。

2022年8月、対面では3年振りにタイのバンコクで開催された、ACCUフォーラムおよび年次総会に出席しました。「持続可能な信用組合」を主テーマとしたフォーラムでは、アジア16ヵ国から集まった335名の信用組合中央団体や個別信用組合の代表・幹部らに、日本の1990年代の金融危機を経た構造変化、そしてコロナ禍のなかで日本の信用組合がいかに困難な経営課題に取り組んできたかについて講演を行いました。

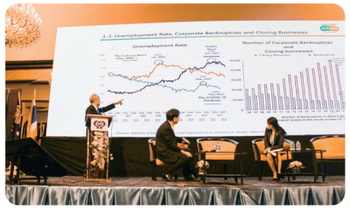
また、2022年12月には大東京信用組合の協力を得て、同信用組合本部にて、ダバオ信用協同組合（フィリピン）の訪日視察団に対し、日本の信用組合業界の紹介を行いました。

更に、2023年3月には、韓国信用組合連盟（NACUFOK）が韓国ソウルで開催したCEO戦略会議に出席して、同国の信用組合業界の最新の状況を視察するとともに、ACCUの主要メンバーとの意見交換を行いました。

今後もACCUの活動を中心に、アジアの信用組合との連携を深めてまいります。

アジア信用組合連盟（ACCU）の概要

- **設　立**　1971年4月
- **本　部**　タイ（バンコク）
- **会　長**　キム・ユンシク（韓国信用組合連盟・理事長）
- **加盟団体数**
  - 正会員（13ヵ国16信用組合中央組織）
    バングラデッシュ、香港、インドネシア、インド、日本、韓国、ネパール、パプアニューギニア、フィリピン、スリランカ、台湾、タイ、ベトナム
    （下線は理事国。ネパール、フィリピン、タイは2団体が加盟）
  - 準会員（1ヵ国1信用組合中央組織）
    インドネシア
  - 協力会員（11ヵ国12信用組合中央組織）
    オーストラリア、バングラデッシュ、カンボジア、ドイツ、マレーシア、モンゴル、ミャンマー、パキスタン、フィリピン、シンガポール、東ティモール
  - サポート会員（190の各国個別の信用組合が加盟）
- **傘下の個別信用組合数**　33,120 組合
- **組 合 員 数**　4,880 万人
- **主な活動内容**
  - 各国の信用組合役員および職員の研修・教育プログラムの提供
  - 信用組合が存在しない国々に対する設立支援（ラオス、ミャンマー等）
  - アジア各国の開発途上国の信用組合が直面する問題に対する知見を提供
  - 信用組合における金融包摂、デジタル化、社会貢献等の取組み等



▲ACCUフォーラムでの講演の様子

▲フィリピンの視察団の大東京信用組合訪問

▲韓国信用組合連盟視察
アジアの信用組合連盟の代表

Pick Up

全国に広がっています！
信用組合の地域貢献

全国の信用組合や信用組合役職員は、地域経済の活性化や社会・コミュニティの課題解決に向けた取組み、各種社会貢献活動等、相互扶助を具現化した活動に日々取り組んでいます。
信用組合では業界内表彰制度として「しんくみブランド表彰」を設け、こうした活動を表彰しています。
ここでは受賞先の活動の一部をご紹介します。

2022年度 大賞

木更津発の電子地域通貨「アクアコイン」がつなぐ地域への思い

君津信用組合（千葉県）が木更津市・木更津商工会議所と連携して導入・普及に取り組んできた、木更津市内限定の電子地域通貨「アクアコイン」事業。スマートフォン専用アプリを利用した二次元コードによる代金決済サービスの本格運用を開始し、商店街などの消費活動を高め、地域内の資金循環を促進するとともに、観光客にも「アクアコイン」を使用してもらい地域外からの消費を呼び込むなど、当市内の経済活性化に取り組んでいます。

「アクアコイン」は、開発当初から金融機関・自治体・商工会議所が連携した初の電子地域通貨として、地域経済・コミュニティの活性化に大きく貢献しています。

▲君津信用組合主催「アクアコインまつり」の様子

▲「アクアコイン」ロゴマーク

君津信用組合による「アクアコイン」事業の取組みを描いた動画はこちら！

2022年度「しんくみブランド表彰」受賞先一覧

※各信用組合の取組み詳細についてはこちらをご覧ください

2022年度 優秀賞

信用組合部門	茨城県信用組合	商店街体験型金融教育『キッズ未来プロジェクトきずな』への協力
信用組合部門	糸魚川信用組合	地元消費促進による地域の活性化
信用組合部門	岡山県信用組合協会	つながる、輝く。「しんくみビジネスマッチング」
役職員部門	第一勧業信用組合（職員3名）	オリジナルご当地ソング（篠崎望郷音頭）の制作
役職員部門	広島県信用組合（職員3名）	「三原だるま」の技術の伝承と、若い世代への広報活動

2021年度 大賞

世代を超えて想いを手渡す佐世保発の循環でつなげる地域支援

西海みずき信用組合（長崎県）は、新型コロナウイルス流行時より、アルバイトが途絶えるなど困窮する学生を支援すべく、地域で集めた募金を基に佐世保の学生たちに無料で食事を提供する応援プロジェクト「佐世保まちの学食」の取組みを実施しています。学生を対象とした事例は日本初だったとともに、困窮している学生の支援と客足の遠のいている飲食店を同時に支援することが可能な取組みとなっています。また、現在では「佐世保まちの学食」に支えられた学生が運営に参加し、その中枢を担っており、助け合いのリレーが生まれ、信用組合から始まった取組みが、地域一体となった活動に発展しています。

▲「まちの学食」マーク

▲「まちの学食」運営にボランティアとして参加する学生の様子

世代を超えて想いを手渡す佐世保発の循環でつなげる地域支援の取組みを描いた動画はこちら！

2021年度「しんくみブランド表彰」受賞先一覧

※各信用組合の取組み詳細についてはこちらをご覧ください

2021年度 大賞

役職員部門	金沢中央信用組合（職員1名）	“しんくみ流”市場史編纂（近江町市場三百年史）

2021年度 優秀賞

信用組合部門	北郡信用組合	読書を通じて、健全な子供の育成と心豊かな人・地域づくりを目指す「ほんのうちょう（読書通帳）」の贈呈
信用組合部門	横浜幸銀信用組合	CSR活動「こどもの未来プロジェクト」の取組み
信用組合部門	塩沢信用組合	コロナ禍における地域経済の活性化に向けた事業者等への支援活動とその活動を通じた「しんくみブランド」の訴求
信用組合部門	のぞみ信用組合	盲導犬育成事業への応援活動